

リケンテクノス株式会社

2015年3月期

決算説明会

2015年5月26日

- 決算概要
- 事業の概況
- 今後の事業戦略

決算概要

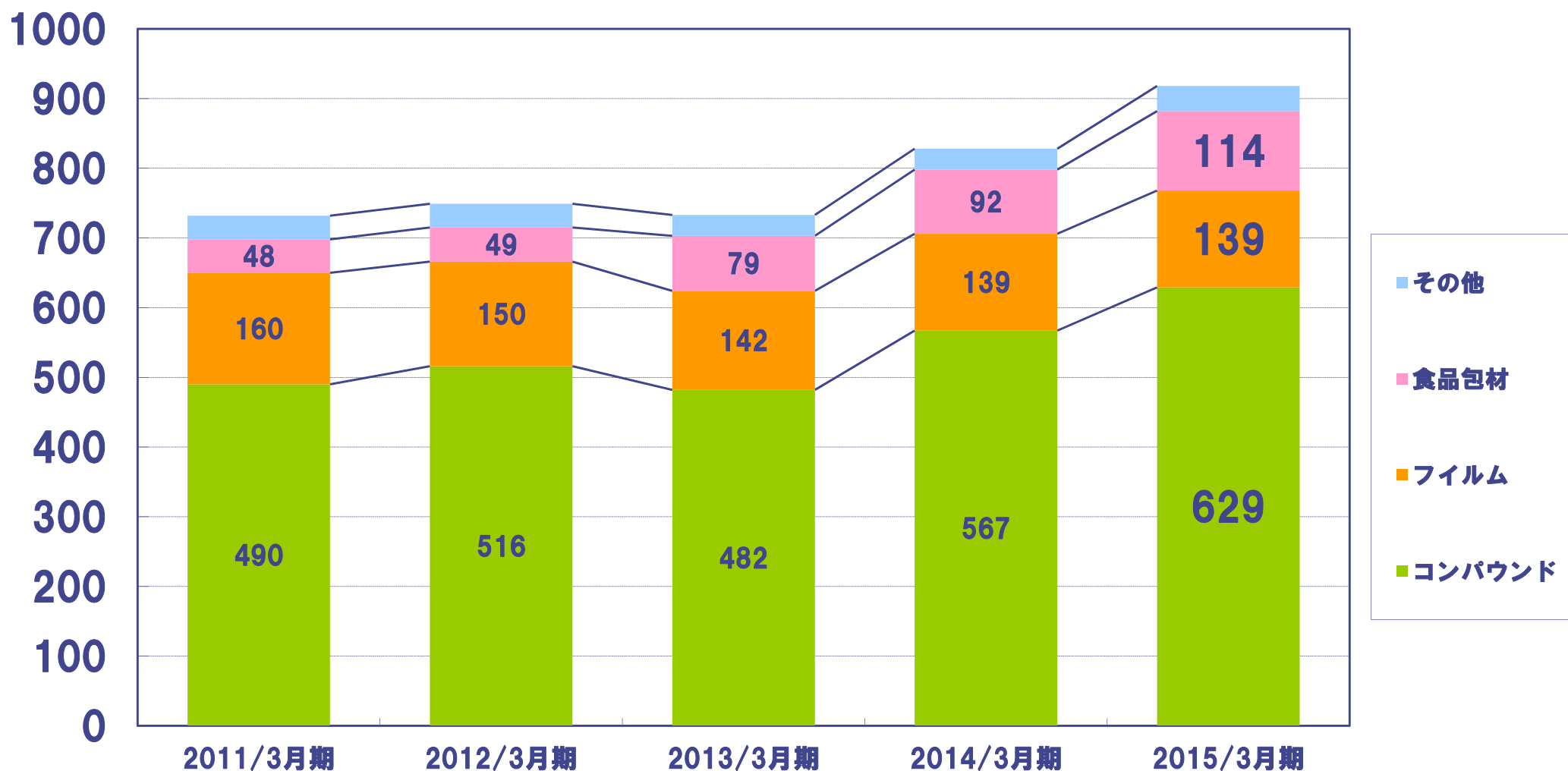
単位：百万円、円

科 目	2015年 3月期	2014年 3月期	前期比	増減率	2015年3月期 業績予想	2015年3月期 業績予想 (当初) ※
売上高	91,938	82,855	+9,082	+11.0%	91,800	92,000
売上総利益	14,011	13,120	+890	+6.8%	—	—
営業利益	3,652	3,732	▲79	▲2.1%	3,700	5,000
経常利益	4,062	4,016	+46	+1.2%	4,300	5,000
当期純利益	1,900	1,925	▲25	▲1.3%	2,000	2,500
1株当たり利益	31.74	32.17	▲0.43	▲1.3%	33.39	41.77

※平成27年2月10日に通期業績予想の修正を行っております

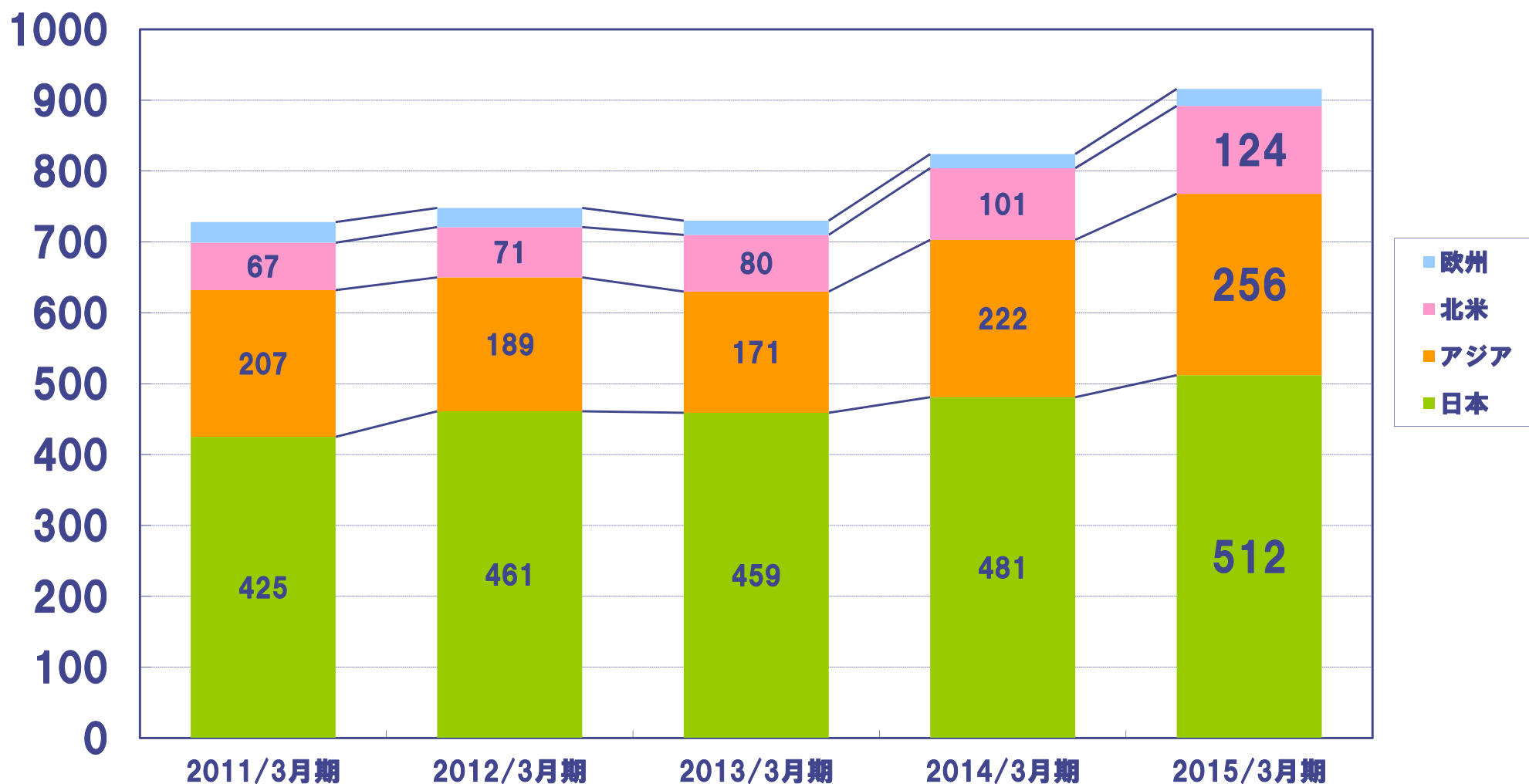
2015年3月期 売上高 919億円
前期比 90億円増 (11.0%増)

単位：億円

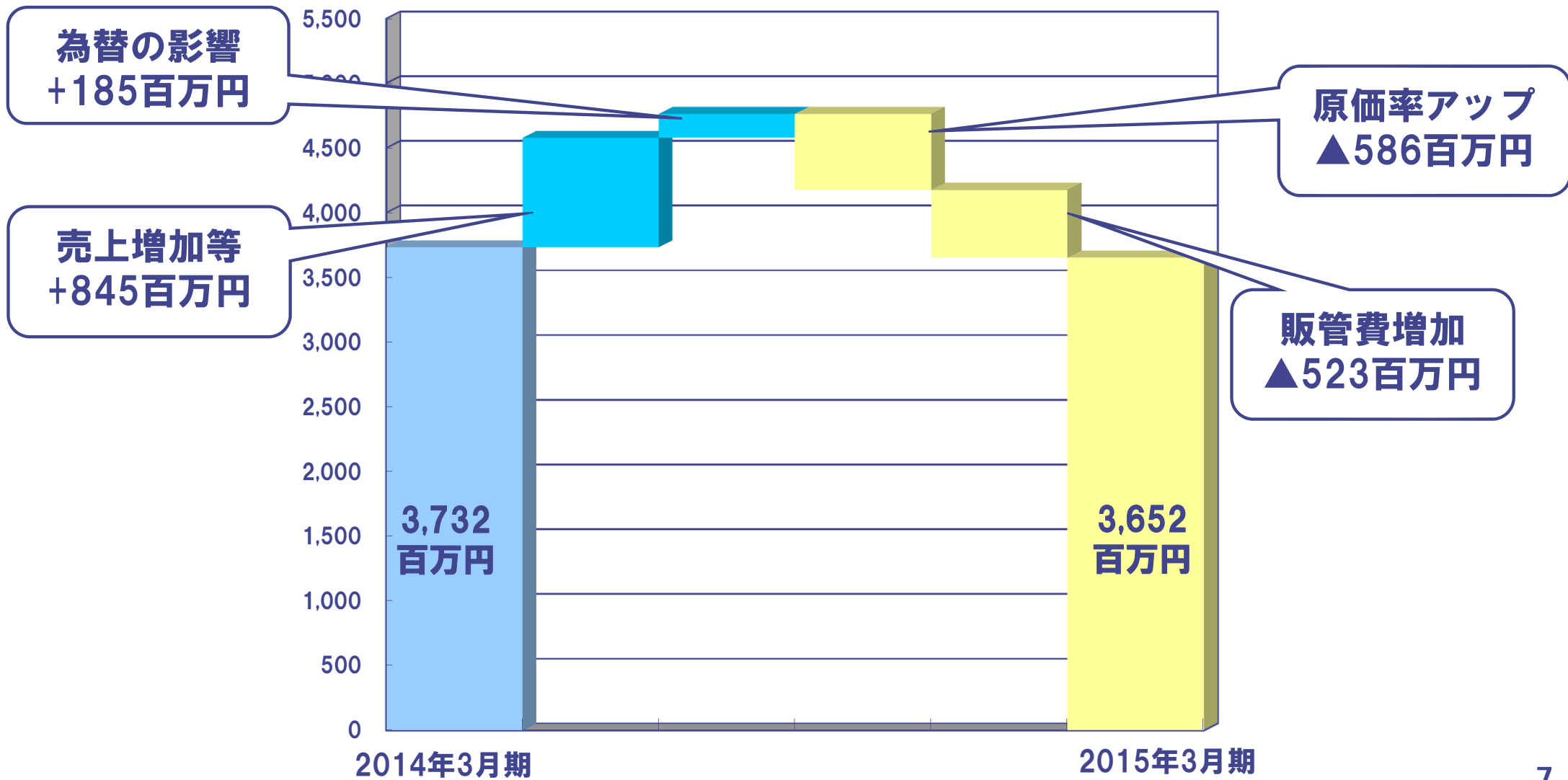


2015年3月期 売上高 919億円
前期比 90億円増 (11.0%増)

単位：億円



営業利益 3,652百万円 前期比 79百万円減益



連結貸借対照表

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

資産合計

86,086百万円

前期末比 8,878百万円増

流動資産 51,240百万円

固定資産 34,846百万円

負債合計

40,863 百万円

前期末比 4,611百万円増

純資産合計

45,223 百万円

前期末比 4,266百万円増

当期 前期比

営業CF 4,375 ▲1,331

投資CF ▲4,472 ▲847

財務CF 2,088 1,486

増減額 2,282 ▲844

期末残高 13,981 2,282

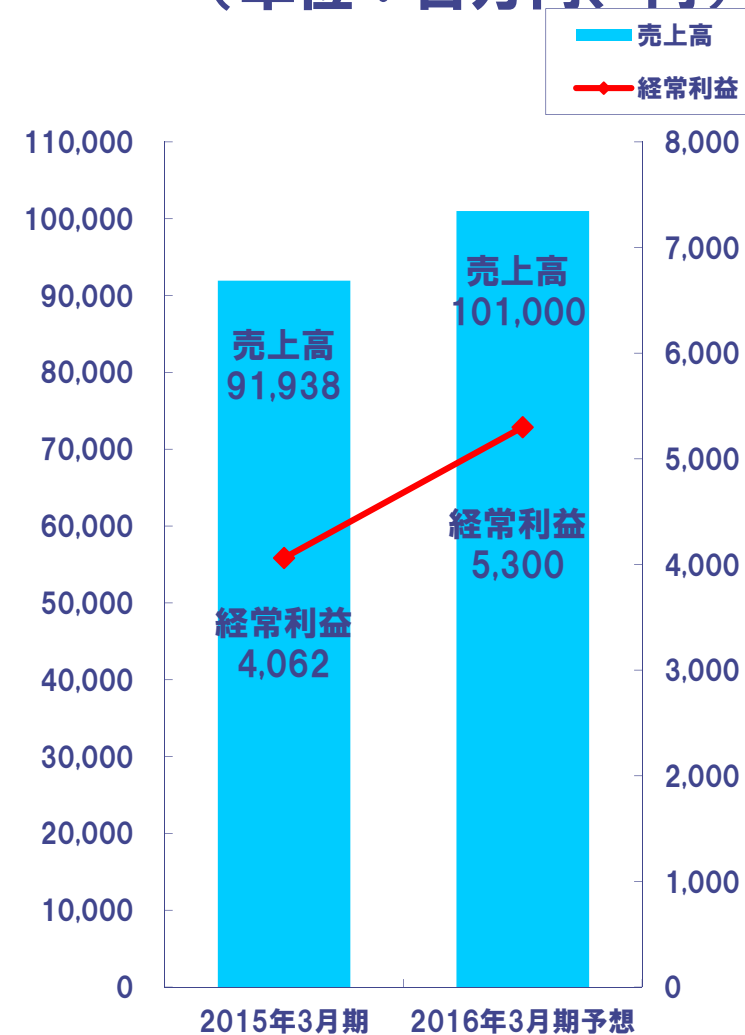
科目	2016年3月期 業績予想	2015年3月期 実績	伸び率
売上高	101,000	91,938	+9.9%
営業利益	5,000	3,652	+36.9%
経常利益	5,300	4,062	+30.5%
当期純利益	2,700	1,900	+42.1%
1株当たり利益	45.07	31.74	+42.1%

【業績予想のポイント】

国内については前期とは異なり、原材料価格は下落傾向にあり、売上については、大幅な増加は見込んでいないものの、収益性は改善される見込み。

海外は市場環境が引き続き好調なことによる売上増加に伴い利益面でも量的に大きく寄与すると見込む。

(単位：百万円、円)



事業の概況



・自動車市場

コンパウンド事業で培った自動車内装材（シフトノブ、パーキングブレーキカバー等）の実績とフィルム事業で積み重ねた製膜ノウハウの**融合**により生まれた**E触感エラストマシート**。展示会などを機会に多くの方々にご好評を頂き、採用に向け顧客との共同開発が進んでいる。

・医療ヘルスケア市場

ユニット制となったため**重点分野に注力**でき、量的営業を実践することが出来た。特定市場にフォーカスできる体制となったので、海外拠点との情報共有がさらに加速された。

・電材市場

製品にとらわれず**営業窓口が一本化**されたことで、柔軟かつ有効な解決策の提案が可能となり、商売の可能性が広がった。開発面でもコンパウンド、フィルムの**協業が促進**され、**より付加価値の高い開発テーマの検討が可能**となった。

ベトナム社会主義共和国の新会社について

- 商号: RIKEN VIETNAM CO., LTD.
- 所在地: 2 VSIP II-A Street 26, Vietnam Singapore Industrial Park II-A, Tan Uyen Town, Binh Duong Province, Socialist Republic of Vietnam
- 設立年月日: 2014年11月設立
- 主な事業内容: コンパウンドの製造・販売
- 資本金: 10百万USドル
- リケンテクノス株式会社100%出資
- 事業開始: 2016年6月予定
- 敷地面積: 7万5千㎡



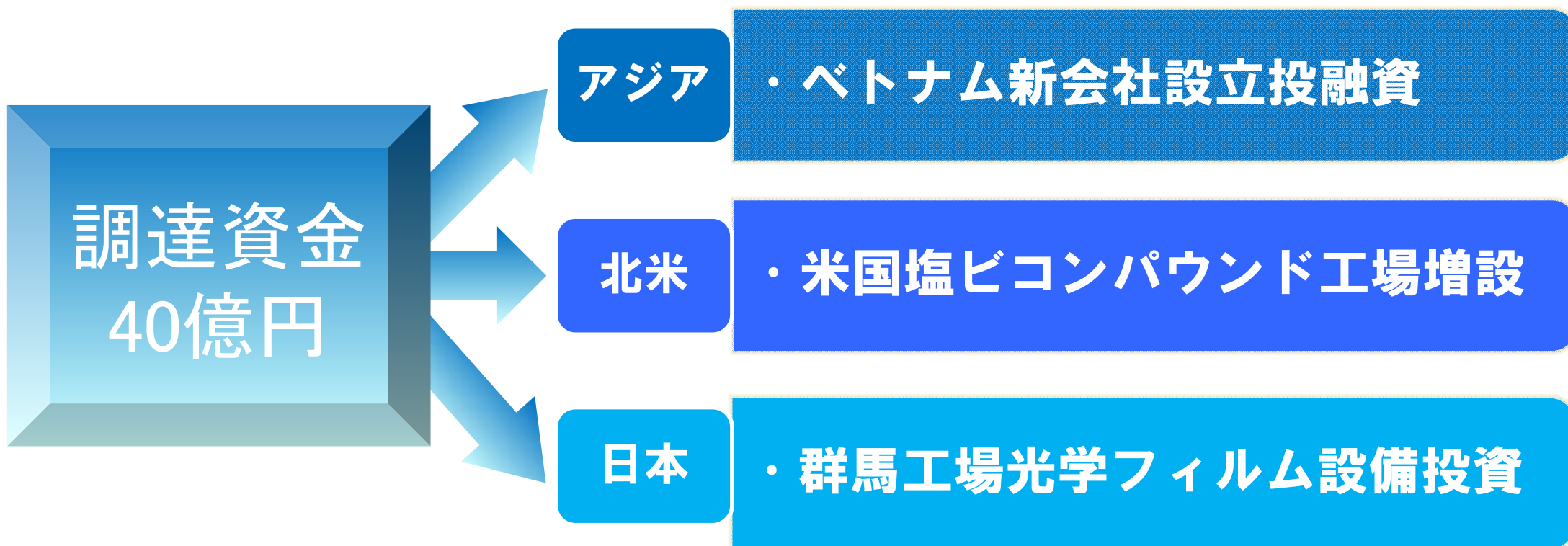
2015年4月24日 地鎮祭実施



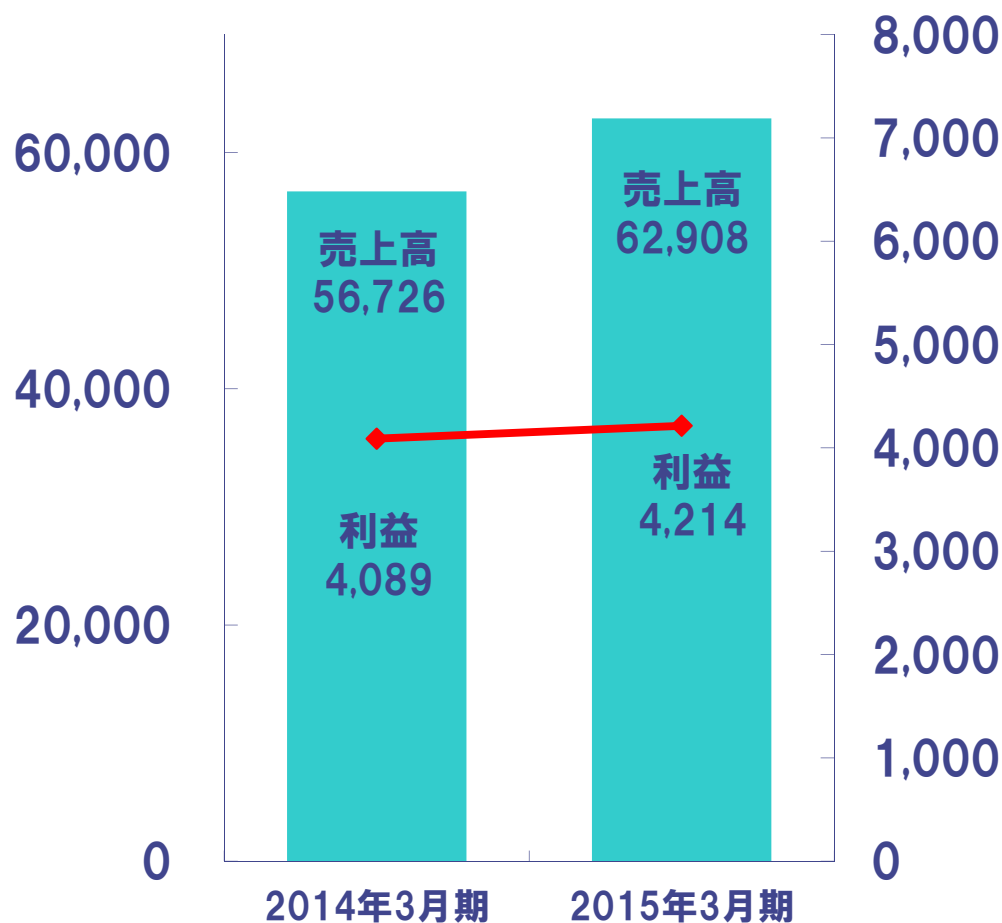
転換社債型新株予約権付社債の発行

発行日：平成27年3月19日 期間：5年 転換価格：469円

主たる資金使途



単位：百万円



6,181百万円増収

前期比11.1%増

125百万円増益

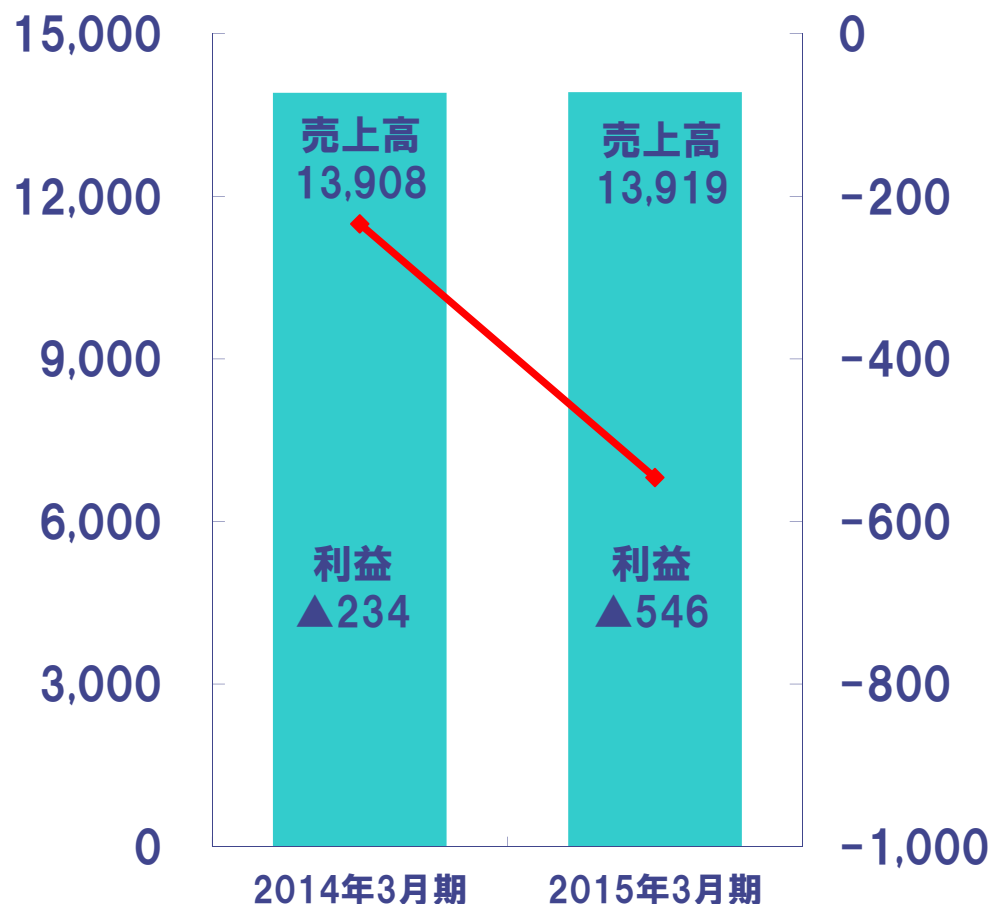
前期比3.1%増

国内は、電材市場はインフラ関連の需要が堅調に推移。

自動車市場は国内新車販売台数が伸び悩む中、拡販活動により売上が上伸。

海外は、各拠点で好調な電材市場、自動車市場を中心に売上を伸ばし増収増益。

単位：百万円



10百万円増収 ▲311百万円減益
前期比0.1%増

国内は、非住宅分野や電材市場は好調に推移したものの、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動で住宅分野は厳しい状況が継続。

海外は、欧州での景気低迷による売上減少が影響し厳しい状況が継続。

光学市場は、新製品開発に注力し、サンプルワークを開始・継続したものの、開発費用が増加しフィルム事業全体の減益に影響。

(ガラス代替フィルム関連費用約10億円)



2,265百万円増収 ▲**11**百万円減益
 前期比24.6%増 前期比14.2%減

消費税の引き上げ、夏場の天候不順の影響で需要が低迷し、売上は低調に推移。

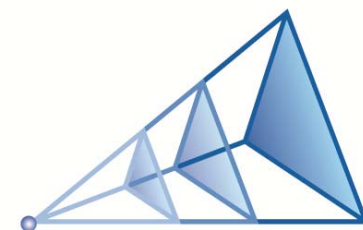
食品、日用雑貨に対する低価格志向が強まり、原材料価格の高騰、円安による原価上昇分の価格転嫁が遅れ収益面では厳しい状況。

前期に決算期を変更したリケンファブロ(株)が、当期より12ヵ月間の業績が計上された影響で増収。
 (前期は9ヵ月間の業績)



今後の事業戦略

- 計数目標（最終目標）
- 進捗状況
- 市場別拡販状況（マーケットイン）
- 設備投資等の状況

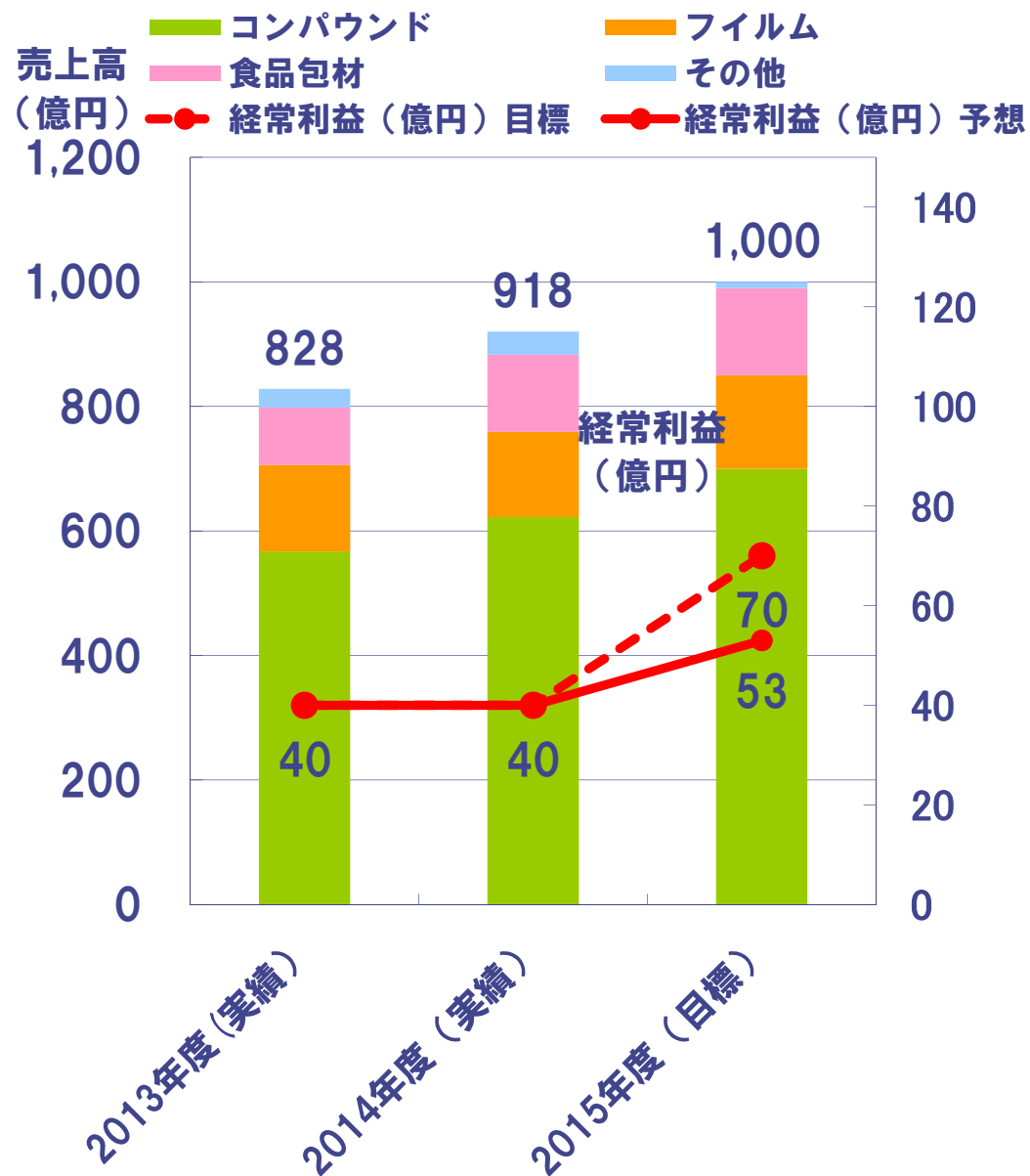


Dimensional Change

次元を変えた取り組みを行う

グローバル、更なるスピードアップ

(連結ベース)	2015年度 (最終年度目標)	2015年度 (業績予想)
売上高	1,000億円	1,010億円
営業利益	70億円	50億円
経常利益	70億円	53億円
当期純利益	40億円	27億円



2013年4月にスタート。進捗状況のレビュー。

コンパウンド事業の更なるグローバル展開

フィルム事業の抜本的な立て直し

最適な営業推進体制の構築

コンパウンド事業の更なるグローバル展開

2013

2014

2015

2016

全域

グローバル営業体制強化（シンガポールへ販売統括会社設立）

海外拠点との協業による（戦略市場）拡販、グローバルネットワーク構築

アジア

自動車
電線
情報電子
医療

タイ エラストマー工場稼働

タイ エラストマー増設検討

タイ 塩ビ 増設検討

インドネシア 医療用塩ビコンパウンド工場稼働、販売強化

インドネシア一般塩ビ増設ライン稼働、生産性改善設備導入

中国 塩ビ増設、稼働準備

ベトナム コンパウンド生産工場 建設、稼働準備

北米

自動車
建材

米国 エラストマー増設ライン稼働

米国 塩ビ 増設、稼働準備

欧州
その他

未開拓地域（中南米、EU他）の市場調査

重点市場に強い企業とのアライアンス等の検討

当社グループ全体で
海外売上高比率
50%以上が目標

フィルム事業の抜本的な立て直し

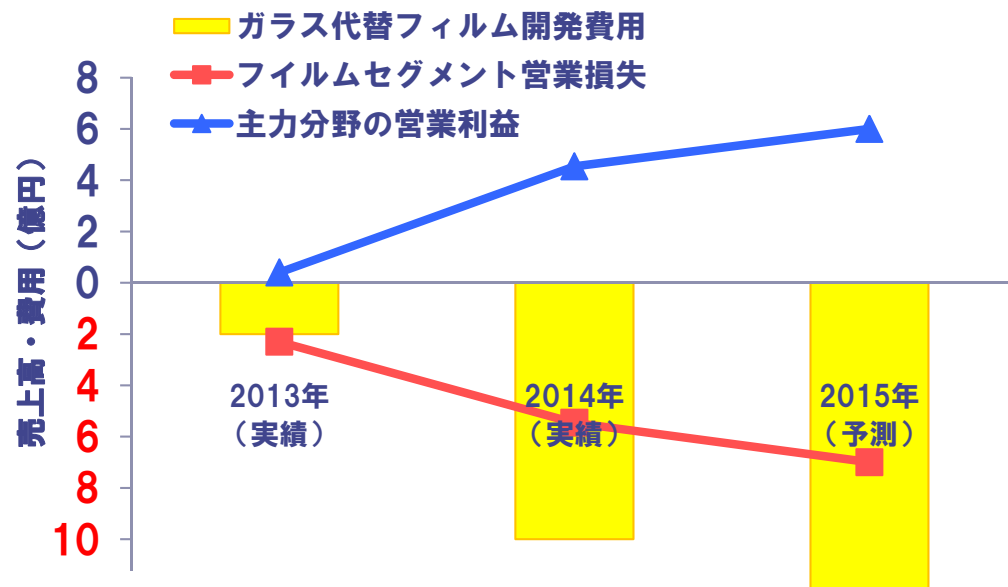
2014年度までの実績

- ◆主力事業での安定黒字化
- ◆フィルム海外生産 (OEM生産) 開始
- ◆新製品への開発注力、上市への準備

最終年度 (2015年度) の課題

- ◆主力事業での黒字拡大
 - ⇒ 建材分野でのリフォーム・非住宅市場需要の取り込み
 - ⇒ 徹底したコストダウン実施
 - ⇒ 様々な新製品の上市
 - ⇒ 海外販売戦略の強化
- ◆光学フィルムのディスプレイ市場への新製品の上市

フィルム事業 営業利益と開発費用



最適な営業推進体制の構築

製品別組織から市場別組織へ改組。2014年4月よりスタート。



自動車
市場



電材
市場



医療
ヘルスケア市場



建材・建装材
市場

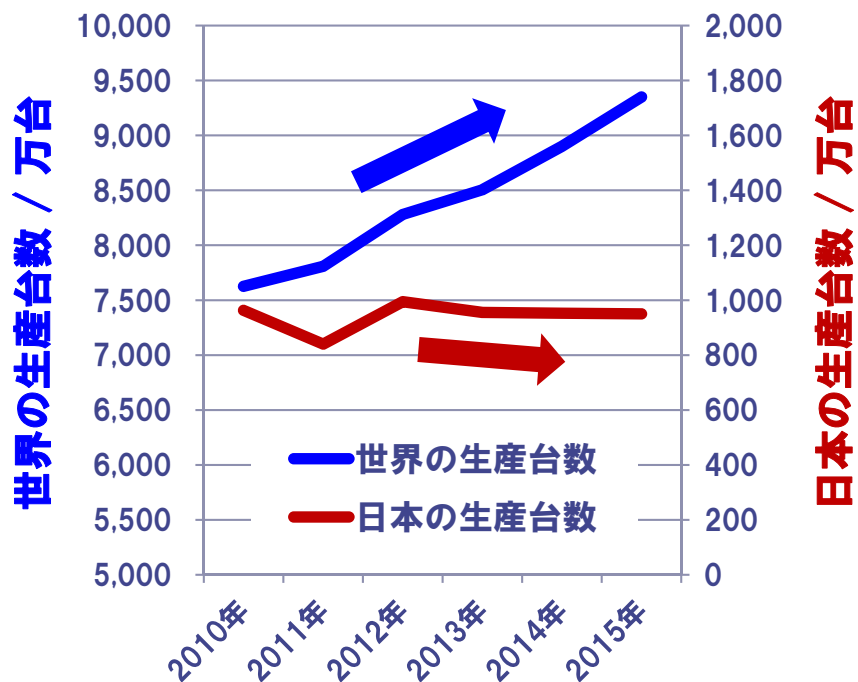


情報電子
市場



食品包材
市場

市場動向データ



市場ニーズ(軽量化、PVC回帰)を的確に捉え、各分野の販売戦略にて、売上の拡大を進める。

自動車市場での売上目標

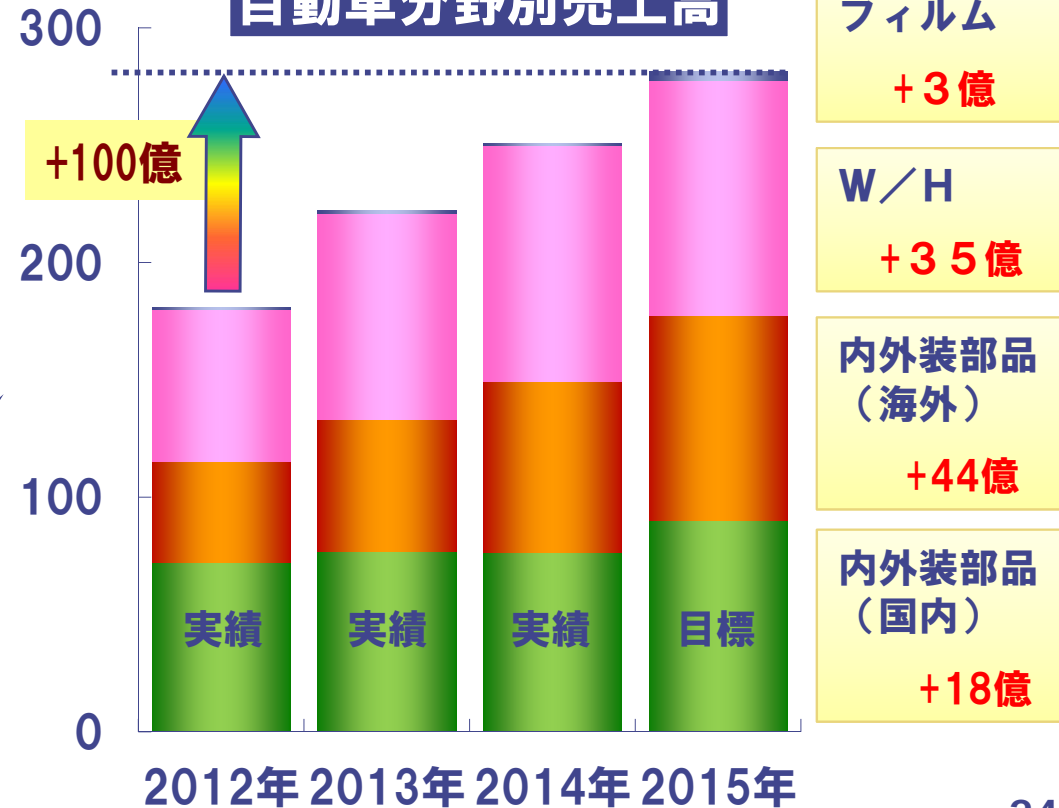
2015年度売上目標：280億円

⇒ 2012年度売上比：+100億円

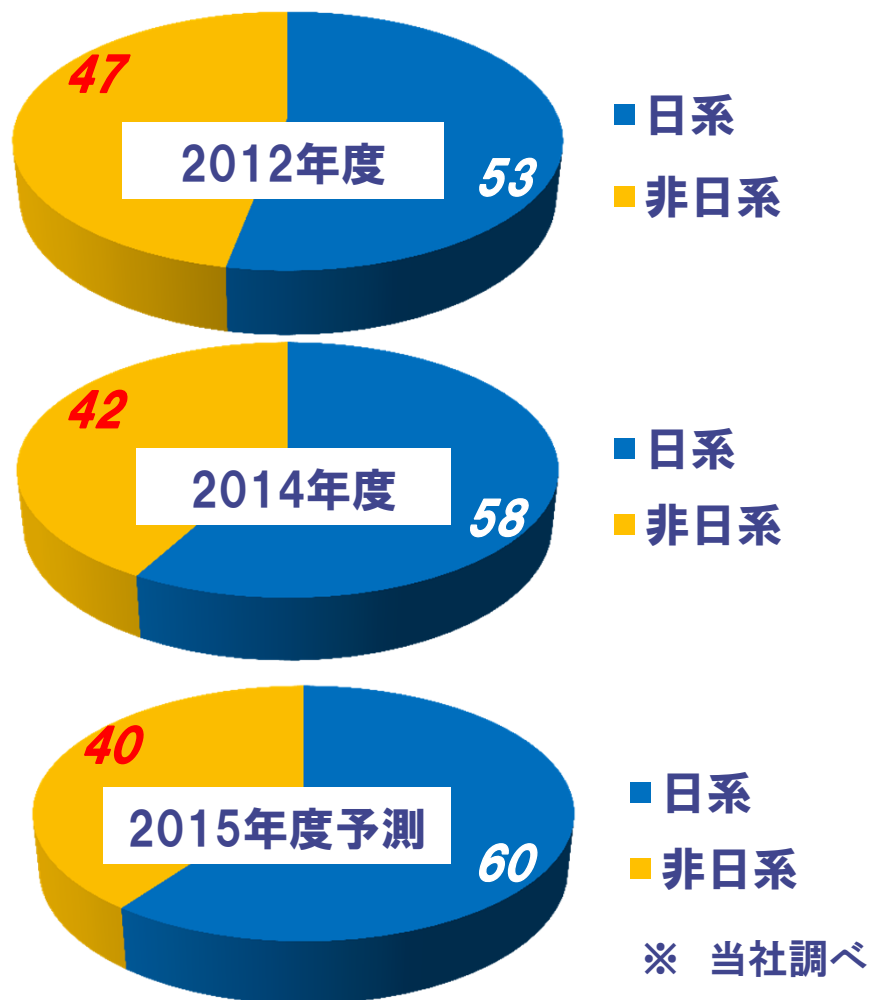
2014年度売り上げ実績：250億円

売上高 (億円)

自動車分野別売上高



ワイヤーハーネス市場シェア



生産台数増加の中、
日系メーカーの販売量が上伸

戦略

『品質』と『軽量化』のニーズに対応した技術開発力により、他社の追随を許さない製品供給を継続

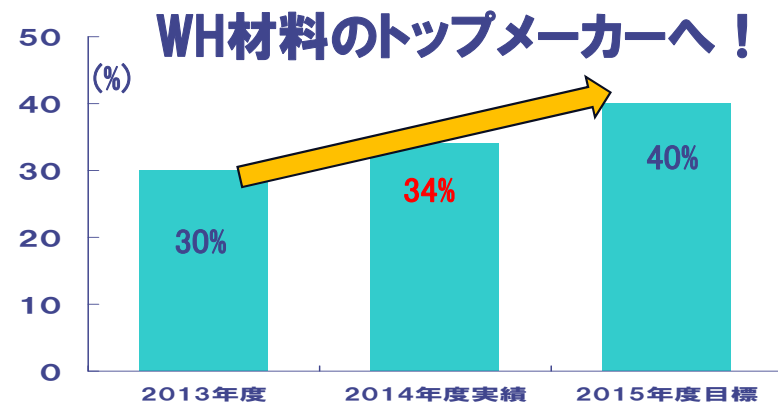
⇒日系W/Hメーカーのシェア拡大に積極的に貢献

・海外拠点をさらに拡充

⇒最適、量的生産拠点の確保

売上目標

世界シェア
30%⇒40%
(2014年度
実績:34%)



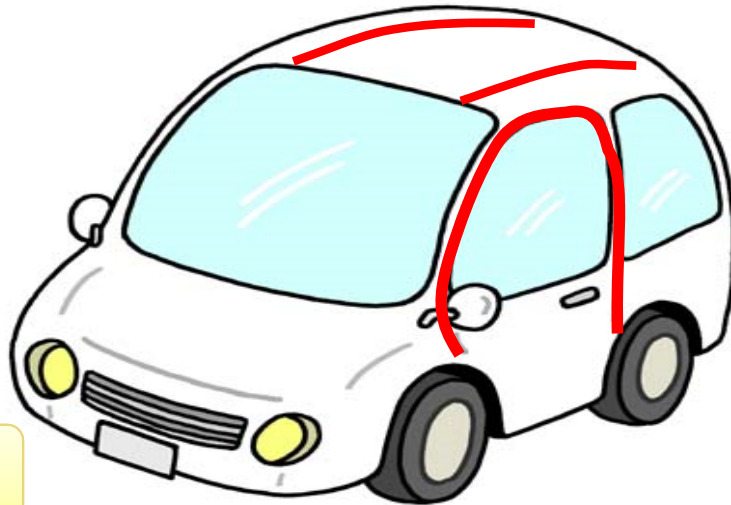
内外装部品（国内・海外）拡販

ターゲット

外装モール

ルーフモール（屋根溶接部）

ウェザーストリップ（窓外周保護）



ドア周辺

ベルトモール（ガラス昇降時の水切り）

グラスランチャンネル（ガラススライド部）

オープニングシール（本体側シール）

ドアグロメット（ハーネス通過部）

戦略

国内市場は縮小傾向だが、軽量化と環境負荷の低いエラストマーで、採用部材を拡大する（ゴム代替）。

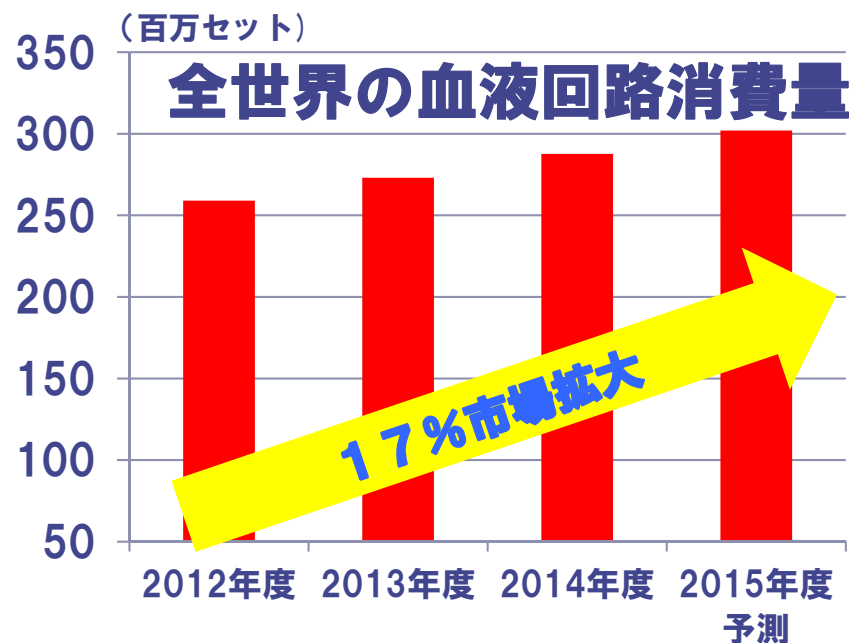
海外では、今後も生産台数の拡大が継続するので、既存の内外装部品の採用拡大を進め、一方では現地生産のメリットを最大限に活用しシェア拡大を目指す。（PVC＋エラストマー）

また、国内で採用されたゴム代替材料を海外に展開し、日本、北米、タイでのエラストマー販売数量を拡大する。

売上目標

世界シェア：9%⇒10%（2014年度）⇒11%

市場動向データ



拡大する血液回路市場

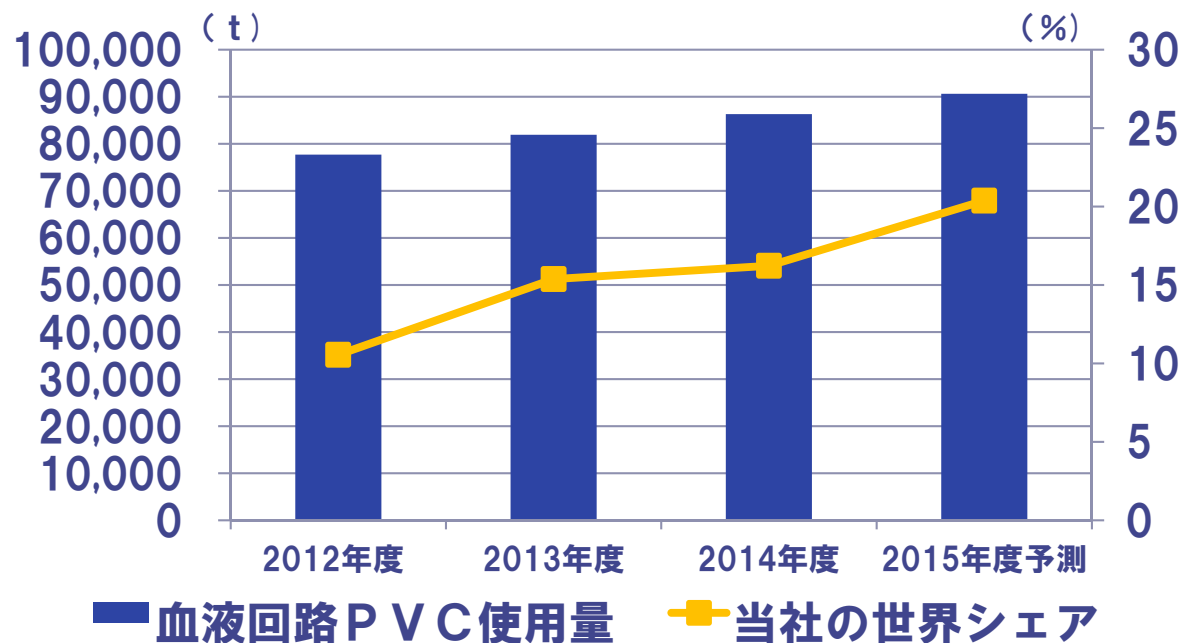
<先進国向け>

- 高齢化 ⇒医療機器に対する需要増加
- 医療技術の進展 ⇒先端医療機器の需要拡大

<新興国向け>

- 人口増加、経済発展 ⇒医療需要拡大
- 富裕層の拡大 ⇒先端医療機器の需要拡大

塩ビ(PVC)使用量動向データ



※ 当社調べ

売上目標

拡大する血液回路市場へ積極的拡販
世界シェア10% ⇒ 20%
2014年度実績:16%

ターゲット



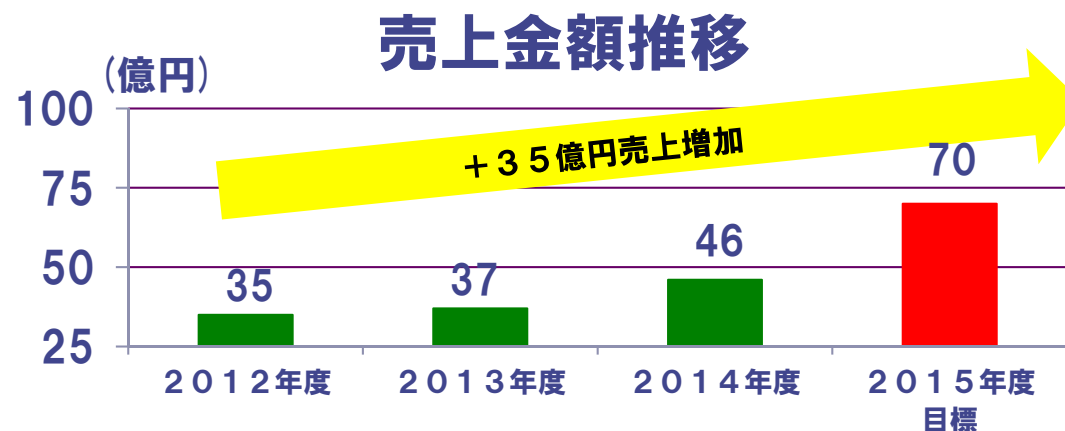
当社の強み

- ・各生産拠点からの高品質、同一品質の安定供給
⇒顧客での**現地調達スタート**
- ・原材料のグローバル調達力
⇒現地調達による**価格低減**

戦略

- ・日系メーカーとのパートナーシップ強化
⇒量的営業を実践し、**新規案件獲得**
- ・販売統括会社を活用した非日系メーカーへの拡販
⇒**サンプルワーク開始**

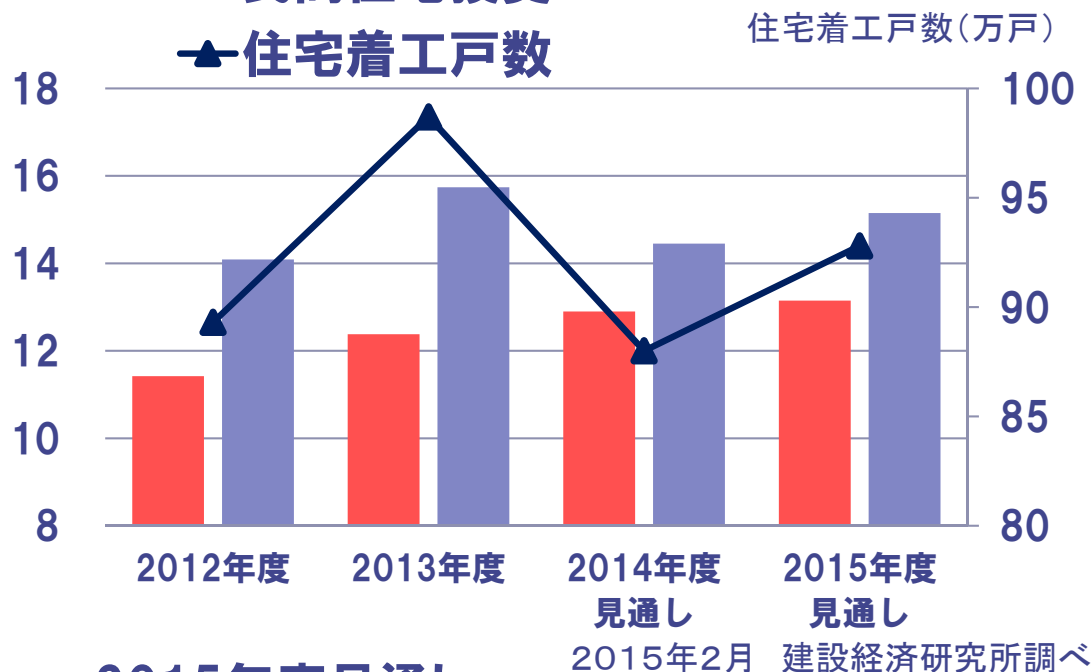
医療ヘルスケア市場での売上目標



建材市場動向

住宅VS非住宅 投資金額推移（兆円）

- 民間非住宅建設投資
- 民間住宅投資
- ▲ 住宅着工戸数



2015年度見通し

- ◆住宅:前年度の反動減からの回復と、市場活性化策により増加
- ◆非住宅:緩やかな回復が継続

重点市場

リフォーム市場

非住宅市場

市場のニーズ

安全・省エネ・高性能・デザイン

売上目標

◆2014年度売上結果

2012年度比 **5%UP**

◆2015年度売上目標

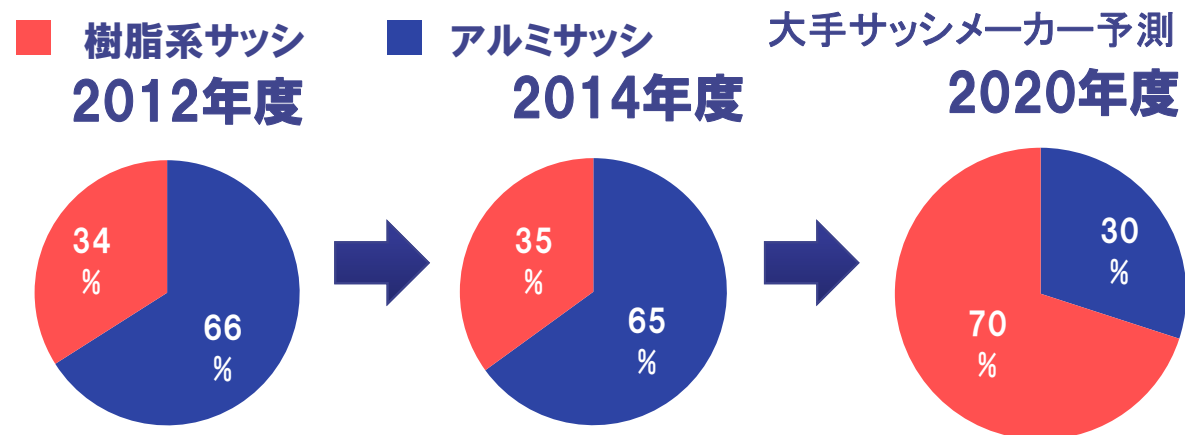
2012年度比 **7%UP**

リフォーム市場への拡販（樹脂系サッシ）

市場動向

2020年建築基準法改定により、省エネ基準UP
断熱効果の高い樹脂系サッシの注目高まる
大手サッシメーカーは7割まで樹脂化の計画

アルミサッシ・樹脂サッシの比率推移

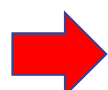


樹脂サッシにおける当社シェア拡大

35%



40%



50%以上

当社の強み

- 豊かな意匠性
- リアルな木質感
- 機能材料

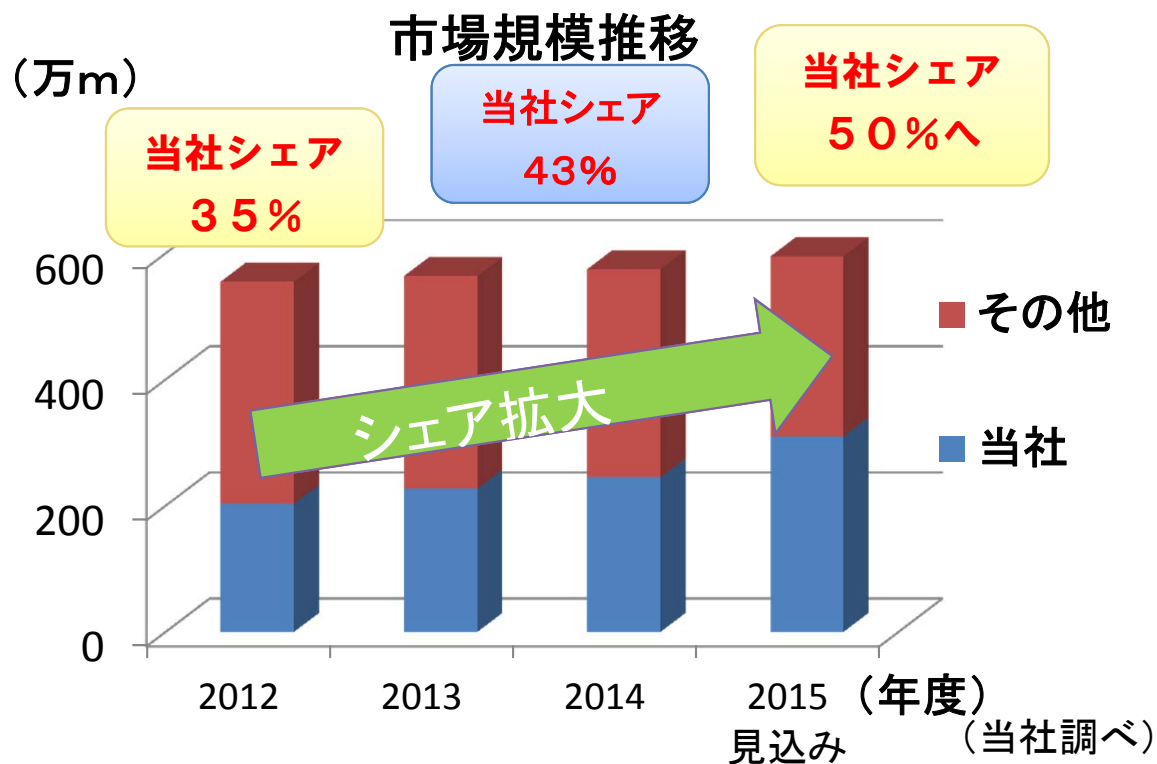
戦略

- 意匠開発力
- 機能材による課題解決
- グローバルネットワーク

非住宅市場への拡販（内装用装飾シート）

市場動向

非住宅市場拡大、リノベーション需要の増加に加え、東京オリンピック開催による効果で、内装用装飾シート需要は拡大



※内装用装飾シート：塩ビ製フィルムで、表面に木目などのデザインが施され、裏面に粘着剤が塗布されたシート。主に店舗、ホテル、オフィスなどで使用される。

当社の強み

- ◆内装用装飾シートで20年の実績
- ◆顧客からの高い信頼性
- ◆施工性の良さ
- ◆課題解決、要求具現化で、顧客期待を上回る技術

戦略

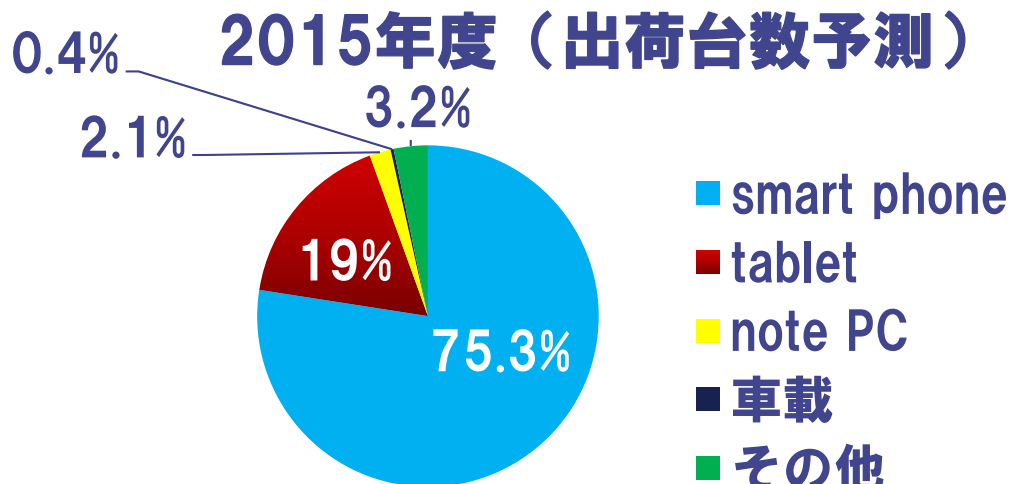
顧客ニーズが多様化する中、斬新なデザイン表現を駆使し、前期市場シェア拡大が図れた。

さらに

- ・本物を凌ぐ表面意匠の具現化
- ・斬新なテクスチャー表現

によりシェア拡大を図る

タッチパネル用途のガラス市場動向



用途	ガラス面積	比率	ガラス売上
smart phone	8,700千m ²	48.5%	362億円
tablet	7,160千m ²	39.9%	294億円
note PC	1,450千m ²	8.1%	57億円
車載	130千m ²	0.7%	7億円
その他	500千m ²	2.8%	21億円
計	17,940千m ²	100%	約741億円

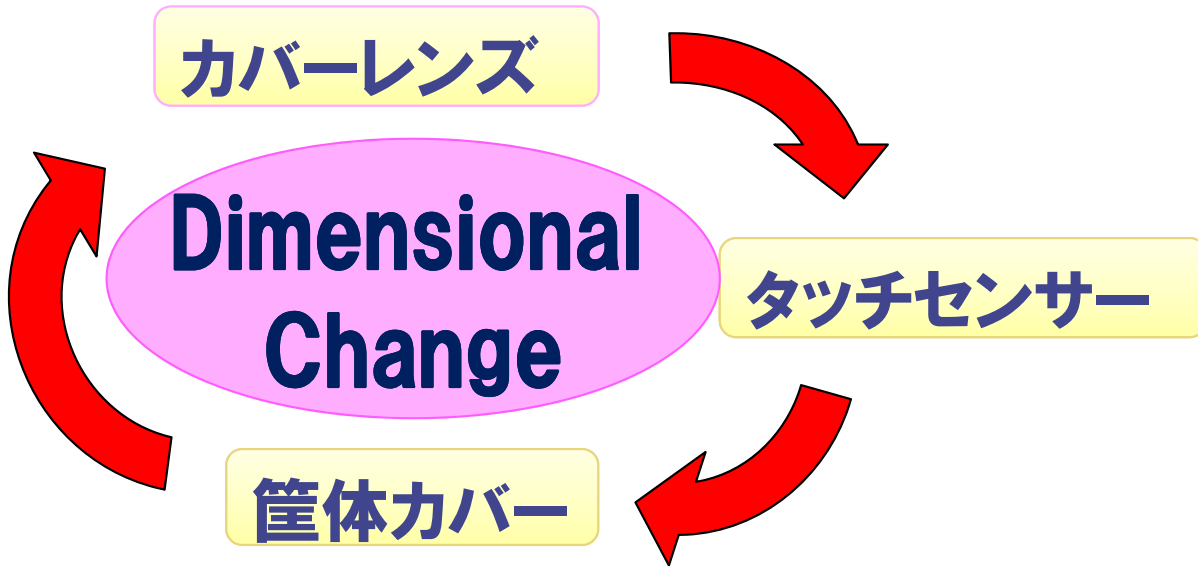
※2015年度(市場予測)

当社の強み

ガラス代替高硬度フィルム REPTY® DC100の特徴

- 軽い (vsガラス)
- 割れない
- 曲げられる
- 加工性の大幅向上
- 高耐久性 (vs他社品)
- 高硬度(9H)+曲げられる
- 高硬度(9H)+割れない
- ガラスのような高級感

REPTY® DC100の戦略



「ファーストエン트리、
カスタマーデライト」

サプライチェーンの構築

商社・協力メーカーとの
戦略的コラボ推進

REPTY® DC100の現在の状況

- ・量産機が昨秋に立ち上がり、量産のサンプル提供開始
- ・流動販売開始

業務用ラップの国内市場動向

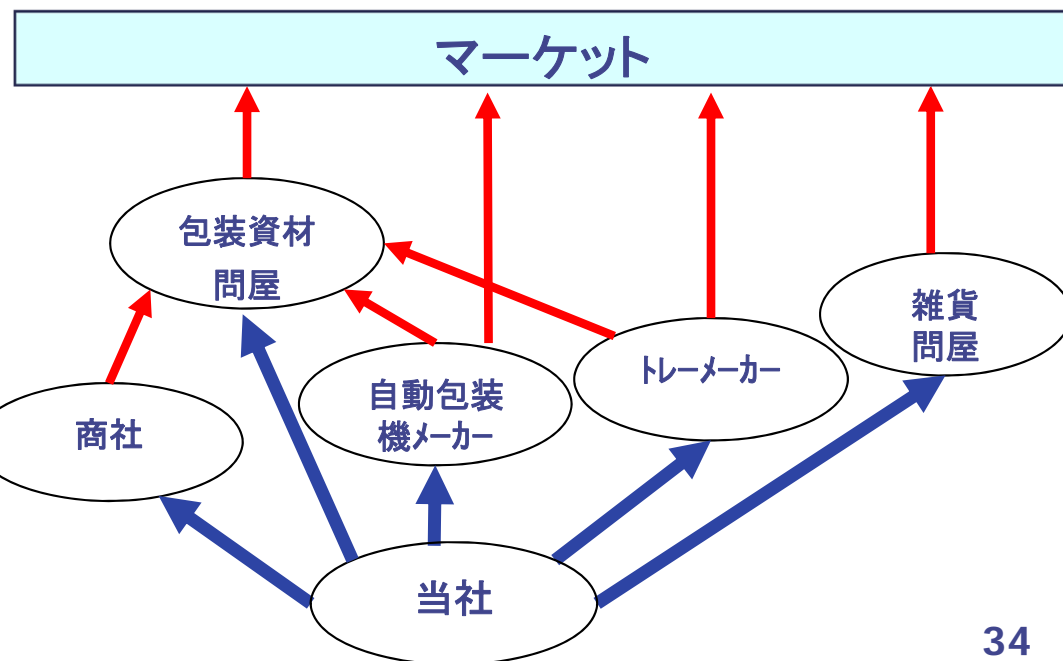
- ・業務用塩ビラップ市場 約130億円/年
- ・業務用非塩ビラップ市場 約 80億円/年

塩ビ製品の業界数量は1996年を境に減少傾向だが「グリーン購入ネットワークガイドライン改定」により塩ビ回帰の流れがある。



多岐に渡る商流網を所有

(競合他社は単一商流が多い)



当社の強み

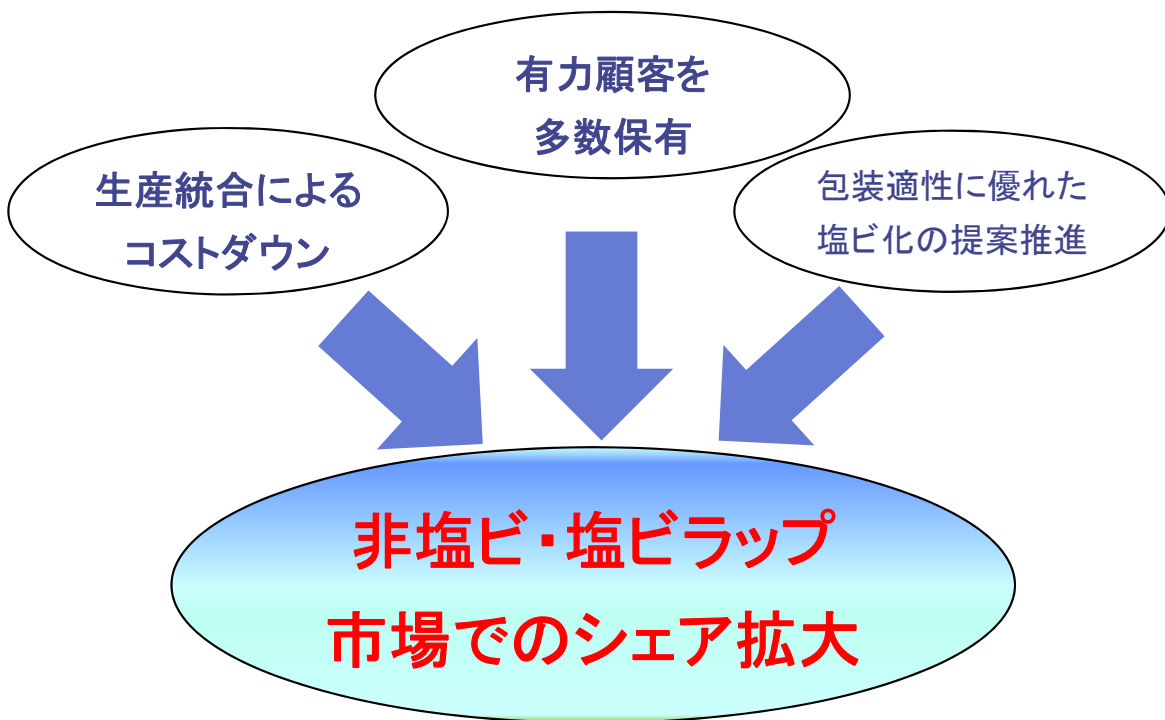
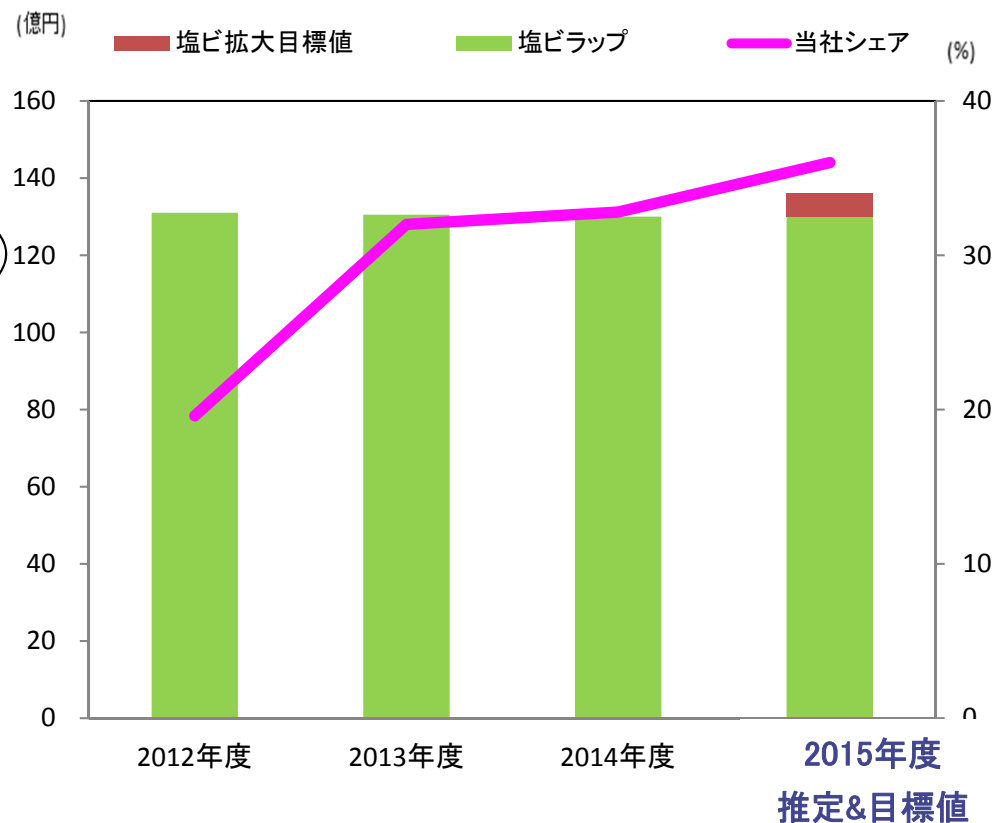
2012年「業界初」の事業統合により誕生したリケンファブロ(株)を中核に事業展開。

「No.1」の顧客ニーズ対応力
(Cost , Quality , Delivery)

戦略 & 目標

非塩ビ市場に対する塩ビ化提案を積極的に行うと共に、商流や営業力を活かし、塩ビ市場における**圧倒的主導権**を握る。2015年度は前年比**+2%**の「**シェア36%**」を目指す。

業務用ラップマーケット金額推移当社シェア
(業界データ、富士キメラ総研より推計)



単位：億円

年度	主な設備投資	総額	減価償却費	研究開発費
2013年度 (実績)	国内 エラストマー増設 インドネシア 医療用コンパウンド新設	37	28	12
2014年度 (実績)	国内 光学用フィルム増設 米国 エラストマー増設 インドネシア コンパウンド増設	46	32	12
2015年度 (計画)	中国 コンパウンド工場増設 ベトナム コンパウンド工場新設 米国 塩ビコンパウンド工場増設	55	36	13

※メンテナンスを含む。

配当金

安定配当

(円、%)

	中間	期末	通期	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
2012年3月期	4.00	5.00	9.00	27.8	1.7
2013年3月期	4.00	5.00	9.00	40.2	1.6
2014年3月期	4.00	5.00	9.00	28.0	1.5
2015年3月期	4.00	5.00	9.00	28.4	1.4
2016年3月期 (予想)	5.00	5.00	10.00	22.2	1.5

※2016年3月期（予想）における配当性向及び純資産配当率は、3月末現在で把握可能な数値にて試算しております。

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

お問い合わせ先

webmaster@rikentechnos.co.jp

経理部 高見